

八陣の図（杜甫）

功蓋三分國 名成八陣圖
江流石不轉 遺恨失吞吳

功は 蓋う 三分の 国

解説 杜甫の五十四歳のころ、諸葛孔明の残したという八陣の図を見て作つたもの。

名は 成る 八陣の 図

語釈 ※八陣図 諸葛亮が石を積んで作つた陣形。八陣とは天・地・風・雲・飛竜・翔鳥・虎翼・蛇盤の人物にかたどつたもの。※蓋 圧倒する。※三分国 魏・呉・蜀の三国。※遺恨失吞吳 呉を滅して併呑（他の勢力を自分の勢力下に入れること）しなかつたことを恨むととつておく。

江 流るるも 石 転ぜず

遺恨なり 呉を 吞むを 失す

通釈 諸葛孔明の武功は、魏・呉・蜀を圧倒するほどのものだった。彼の名は八陣の図によっていつそう高くなつた。長江の流れにもこの石はびくともしない。惜しいかな、呉を攻めて滅したが、併呑しえなかつた。